

石油燃焼機器用しん 取扱説明書

●しんの交換をする前に、必ずこの「取扱説明書」を読んで、正しくおこなってください。(しん交換のしかたがわからない場合は、販売店にご相談ください。)

商品コード	11256907	品名	ガラスシンクミタテ
<p>適合する機器の型式</p> <p>RS-235-236-237-237E NRS-230V6 NT-F1, KSL21 HRS-L21, 6RS-210, RSK-233, TP-23, CP8-21</p> <p>RS-D234-D235-D295-D297-23-237-D238E-D239E 6RS-D235-23 HRS-230-23-237, VR-D297, PA-239 NRS-D234-1029-D292-23-234-D295E CS-D235-D236-D237-D238E-D239E</p> <p>RC-D284E-D285E-D287E-D288E NRC-D285E-3-D286E-D286E</p> <p>RS-S23A-S23B-S23C-S23D-S23E-S23F-S24C-S24D-G24D-G24E-G24F-G24D-G23</p> <p>RC-S28A-S28B-S28C-S28D-S28E-S28F-S28G-S28H</p> <p>CS-S28A-S28B-S28C-S28D RSK-2300-230, NT-S28D-S28E-S28G RSV-23-230, AH-230D, R6YM-230 NRS-D28E7-S28E9-S28E9-S28E1-S28E2, S2315E3-S2316E4-S2317E5-S2318E6-S2319E</p> <p>AS-S28E-S28E9-S28E9-S28E1-S28E2, S2315E3-S2818E4-S2817E5-S2818E6-S2819E</p> <p>替しんの型式名 トヨ耐熱しん第129種 類 普通耐熱しん</p> <p>呼び寸法 φ65×2.5 からやきの可否 からやき可</p>			
<p>品番: 1518000639</p> <p>JIS S 2038 石油燃焼機器用しん</p>			
<p>株式会社 トヨトミ</p> <p>ホームページ http://www.toyotomi.jp</p> <p>本社 〒467-0855 名古屋市長穂区桃園町5番17号 フリーコール 0120-104-154 TEL (052)822-1144 FAX (052)822-2742</p>			
<p>株式会社 トヨトミ 製造 SILVER SIM 1518000641 J-8</p>			

■特に注意していただきたいこと(安全のために必ずお守りください)

ここに示した事項は **△注意** を表示しています。
△注意 : この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う(可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています) **!** マークは「指示」 **🚫** マークは「接触禁止」

△注意 (CAUTION)

- ★**適合する機器の確認**
適合する機器の型式の呼びが合っていることを確認してください。
予想もしない事故が発生するおそれがあります。
- ★**保護具の着用**
機器の分解時は、保護具(手袋など)を着用してください。
誤ってけがをするおそれがあります。
- ★**高温部に注意**
必ずストーブを消火し、ストーブの温度が充分に下がってからおこなってください。
やけどのおそれがあります。
- ★**乾電池を取りはずす**
必ずストーブの乾電池を取りはずしてからおこなってください。
やけどや感電のおそれがあります。
- ★**廃棄するとき**
交換したしんは乾燥させてからビニール袋に入れて廃棄してください。
廃棄処理の際、予想しない事故が発生するおそれがあります。
灯油の廃棄処分は、灯油をお買い求めになった販売店にご相談ください。

お願い (NOTICE)

- ★**しん取り付け後の確認**
 - しん上下操作をして、しんの上下が円滑にでき、しんの高さが規定寸法どおり均一にそろっていることを確かめてください。
 - 対震自動消火装置を動作させて、しんが確実に下がることを確かめてください。
 - 点火操作をして、正常に燃焼することを確認してください。
- ★**変質灯油や不純灯油に注意**
変質した灯油、不純灯油、汚れた灯油、水のまじっている灯油などを使用しないでください。
異常燃焼や故障(点火しにくくなる、しんが下がらなくなる、火が消えなくなる、など)の原因となり、しんの寿命が短くなります。
- ★**この耐熱しんの上端部は、特殊な材料の繊維を使用していますので、糸のほつれ程度を切るだけで先端を「はさみ」などで切らないでください。**
- ★**しんを交換したときは、給油後、約20分以上待って、しんに灯油が十分に吸い上げられてから点火してください。** 十分に吸い上げられていない状態で点火しますと、しんを傷めます。

適合する機器の型式表 の **参照 ①** の機種

- 油タンクと、電池ケースから乾電池を取り出してください。
- 「緊急消火ボタン」を押して、消火装置を動作させてから、ガードを開いて、燃焼筒を取り出してください。
- 「点火つまみ」と「しん調節つまみ」を引き抜いてください。
- 本体の両側面と背面にある止めねじ3本を、左に回して取りはずしてください。本体を前方向に傾けながら、ゆっくりと上方に持ち上げて取りはずしてください。
- 油受けざらにある油受けを取りはずし、市販の給油ポンプで、油受けざら内の灯油を抜き取ってください。
●残った灯油は、布切れなどで吸い取ってください。
●取りはずした油受けを、元通りに油受けざらにセットしてください。
●置台と油受けざらの隙間のほこり、ごみを取り除いてください。
- しん調節器の蝶ネット4本を、取りはずしてください。
●蝶ネットが回しにくい場合は、下図のようにドライバーなどを使って、回して取りはずしてください。

- しん調節器を、ゆっくりと上へ持ち上げて取りはずしてください。
- しん調節レバー(下側のレバー)を押し下げ、ハンドルアームがほぼ水平になるまで上げてください。
- しん保持筒を持って、ハンドルアームの溝から、しん保持筒のピンを左(👈)に回して取りはずしてください。
- 古いしんを4つ折りにするようにして、しんのガイドピン(3箇所)をしん保持筒からはずし、しんを下へ引き抜いてください。
新しいしんを、軽く4つ折りにするようにして、しんのガイドピンをしん保持筒の穴(3箇所)に差し込んでください。
古いしんをはずす 新ししんを差し込む
- しんを、しん保持筒の内側に指で押しつけてなつかせてください。充分になつかせないで、対震自動消火装置が動作したときに、しんが下がらないことがあります。

- ハンドルアームの溝に、しん保持筒のピンを、しん保持筒を右(👉)に回してはめ込んでください。
- しんの高さは、11ページ「各型式のしんの高さ」一覧表を参照してください。11ページに、しんの高さを確認しやすいゲージがついています。しんの高さが、均一に揃っていることを確かめてください。
●しんの上端の糸のほつれ等は、はさみなどで切り揃えてください。
- 「感震部」を押して、対震自動消火装置を動作させてから、本体を前方向に傾けながら、ゆっくりとかぶせてください。
- 本体の両側面と背面を、止めねじ3本で固定してください。
- 1ページの3項で取りはずした点火つまみとしん調節つまみを、取り付けてください。
●つまみには上面、下面がありますので注意してください。
- 燃焼筒をしん調節器の上に正しくセットし、ガードを閉じて、油タンクを入れてください。
乾電池を電池ケースに🔋を正しく合わせて入れてください。
- 油タンクに給油してから20分以上待って、しんに灯油が充分吸い上げられてから点火操作をして、各部がスムーズに動き、正常に燃焼することを確認してください。
- 燃焼筒をしん調節器の上に正しくセットし、ガードを閉じて、油タンクを入れてください。乾電池を電池ケースに🔋を正しく合わせて入れてください。
- 油タンクに給油してから20分以上待ってしんに灯油が十分に吸い上げられてから点火操作をして、各部がスムーズに動き、正常に燃焼することを確認してください。

- しんをいっぱい上げたときのしん高さを、11ページ「各型式のしん高さ」一覧表を参照して確認してください。このときしんの高さが均一にそろっていることを確かめてください。
●11ページのしん高さ確認ゲージを使用して、しんの高さを確認してください。
- 「感震部」を押して、対震自動消火装置を動作させてから、本体を前方向に傾けながら、ゆっくりとかぶせてください。
- 本体の両側面と背面を、止めねじ3本で固定してください。
- 1ページの3項で取りはずした点火つまみとしん調節つまみを、取り付けてください。
●つまみには上面、下面がありますので注意してください。
- 燃焼筒をしん調節器の上に正しくセットし、ガードを閉じて、油タンクを入れてください。
乾電池を電池ケースに🔋を正しく合わせて入れてください。
- 油タンクに給油してから20分以上待って、しんに灯油が充分吸い上げられてから点火操作をして、各部がスムーズに動き、正常に燃焼することを確認してください。
- 燃焼筒をしん調節器の上に正しくセットし、ガードを閉じて、油タンクを入れてください。乾電池を電池ケースに🔋を正しく合わせて入れてください。
- 油タンクに給油してから20分以上待ってしんに灯油が十分に吸い上げられてから点火操作をして、各部がスムーズに動き、正常に燃焼することを確認してください。

適合する機器の型式表 の **参照 ②** の機種

- 油タンクと、電池ケースから乾電池を取り出してください。
- 「緊急消火ボタン」を押して、対震自動消火装置を動作させてから、ガードを開いて、燃焼筒を取り出してください。
- 「しん調節つまみ」を引き抜いてください。
- 本体の両側面と背面にある止めねじ3本を、左に回して取りはずしてください。本体を前方向に傾けながら、ゆっくりと上方に持ち上げて取りはずしてください。
- 油受けざらにある油受けを取りはずし、市販の給油ポンプで、油受けざら内の灯油を抜き取ってください。
●残った灯油は、布切れなどで吸い取ってください。
●取りはずした油受けを元通りに油受けざらにセットしてください。
●置台と油受けざらの隙間のほこり、ごみを取りのぞいてください。

- しん調節器の蝶ネット4本を、取りはずしてください。
●蝶ネットが回しにくい場合は下図のようにドライバーなどを使って、回して取りはずしてください。
- しん調節器を、ゆっくりと上へ持ち上げて取りはずしてください。
- ハンドルジクに固定してあるレンゲツパンの止めねじ1本を取りはずし、レンゲツパンを取りはずします。
- ハンドルジクを右方向「👉」に必ず止まるまで回して、しん保持筒が最大まで上がった後にハンドルアームをしん保持筒の溝よりはずします。
- ハンドルジクを右に止まるまで回さったまま、しん保持筒を持って上に持ち上げて取りはずしてください。

お願い

ハンドルアームに板バネが取り付けられている場合は、しん保持筒があたらないように注意してください。また、しん下部がバネにからまないようにも注意してください。

- 古いしんを4つ折りにするようにして、しんのガイドピン(3箇所)をしん保持筒からはずし、しんを下へ引き抜いてください。
新しいしんを、軽く4つ折りにするようにして、しんのガイドピンを、しん保持筒の穴(3箇所)に差し込んでください。
- しんを、しん保持筒の内側に指で押しつけてなつかせてください。充分になつかせないで、対震自動消火装置が動作したときに、しんが下がらないことがあります。
- ハンドルジクを右方向「👉」に止まるまで回してから、しん案内筒に、しん保持筒を取り付けたしんを差し込んで、しん案内筒になつかせてください。しん保持筒の溝に、ハンドルジクを左方向「👈」に回しながらハンドルアームの先端を差し込み、ハンドルジクを止まるまで左方向「👈」に回してしんを下げてください。
- ハンドルアームに板バネが取り付けられている場合は、取りはずす時と同様にしん保持筒としん下部に注意してください。
- ハンドルジクを左方向に完全に止まるまで回して、しんが完全に下がった状態にしてからレンゲツパンをハンドルジクに通して差し込み、レンゲツパンを支持しながら止めねじ1本で固定してください。

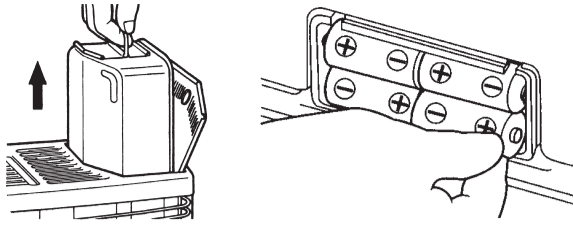
- レンゲツパンは、ガイドをスリットに差し込んで固定してください。
- ハンドルジクにしん調節つまみを取り付けて、しんの上下がスムーズに動くか確認してください。
給油時消火装置のついてる機器は給油時消火装置のアームを指で押し下げ確認してください。
- しん調節器バックの溝が、油受けざらの突起に確実に入っていることを確認してから、しん調節器をしん案内筒にかぶせてください。
- しん案内筒としん調節器の隙間が全周揃っている所で、3ページ6項ではずしたしん調節器の蝶ネット4本を、対角線上の各々2本ずつ均等に締めてください。
片側のみを締め付けるのではなく、4本を均等に徐々に締めてください。
しん調節器の上面としん案内筒の上面の高さが、揃っていることを確かめてください。
●揃いが悪いと炎が片寄ってしまいます。

- 「感震部」を押して、対震自動消火装置を動作させ、しんがスムーズに確実に下がるかどうか、2～3回確認してください。
- しんの上下がスムーズでない場合は、4ページ12項からやり直してください。
- しんの高さは、11ページ「各型式のしんの高さ」一覧表を参照してください。11ページに、しんの高さを確認しやすいゲージがついています。しんの高さが、均一に揃っていることを確かめてください。
●しんの上端の糸のほつれ等は、はさみなどで切り揃えてください。
- 「感震部」を押して、対震自動消火装置を動作させ、しん調節つまみを引き抜いてから、本体を前方向に傾けながら、ゆっくりとかぶせてください。
- 本体の両側面と背面を、止めねじ3本で固定してください。
- しん調節つまみの目印を「緊急消火位置」に合わせて、取り付けてください。

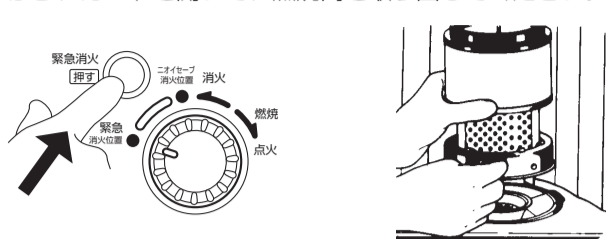
- 燃焼筒をしん調節器の上に正しくセットし、ガードを閉じて、油タンクを入れてください。乾電池を電池ケースに🔋を正しく合わせて入れてください。
- 油タンクに給油してから20分以上待ってしんに灯油が十分に吸い上げられてから点火操作をして、各部がスムーズに動き、正常に燃焼することを確認してください。

適合する機器の型式表 の参照③ の機種

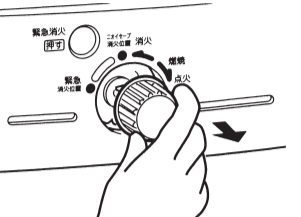
1 油タンクと、電池ケースから乾電池を取り出してください。



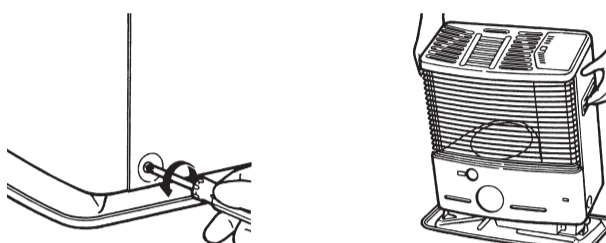
2 「緊急消火ボタン」を押して、対震自動消火装置を起動させてから、ガードを開いて、燃焼筒を取り出してください。



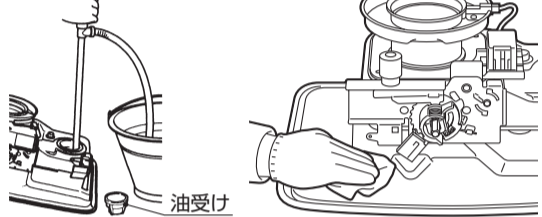
3 「しん調節つまみ」を引抜いてください。



4 本体の両側面と背面にある止めねじ3本を、左に回して取りはずしてください。本体を前方に傾けながら、ゆっくりと上方に持ち上げて取りはずしてください。



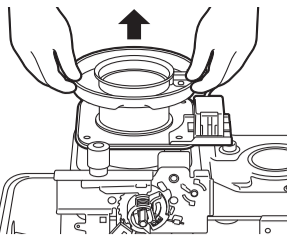
5 油受けざらにある油受けを取りはずし、市販の給油ポンプで、油受けざら内の灯油を抜き取ってください。
 ●残った灯油は、布切れなどで吸い取ってください。
 ●取りはずした油受けを元通りに油受けざらにセットしてください。
 ●置台と油受けざらの隙間のほこり、ごみを取りのぞいてください。



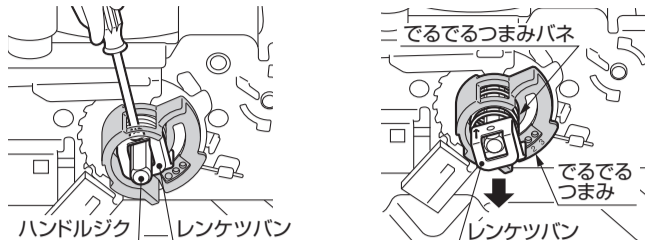
6 しん調節器の蝶ネット4本を、取りはずしてください。
 ●蝶ネットが回しにくい場合は下図のようにドライバーなどを使って、回して取りはずしてください。



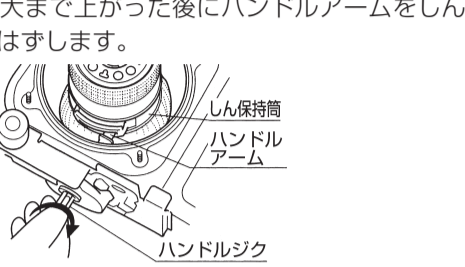
7 しん調節器を、ゆっくりと上へ持ち上げて取りはずしてください。



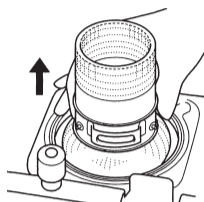
8 ハンドルジクに固定してあるレンゲツパンの止めねじ1本を取りはずし、レンゲツパン、でるでるつまみパネ、でるでるつまみを順に取りはずします。



9 ハンドルジクを右方向「☺」に必ず止まるまで回して、しん保持筒が最大まで上がった後にハンドルアームをしん保持筒の溝よりはずします。

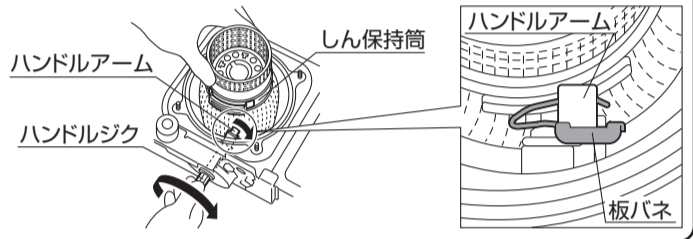


10 ハンドルジクを右に止まるまで回しきったまま、しん保持筒を持って上に持ち上げて取りはずしてください。



お願い

ハンドルアームに板パネが取り付けがある場合は、しん保持筒があたりないように注意してください。また、しん下部がパネにからまないようにも注意してください。

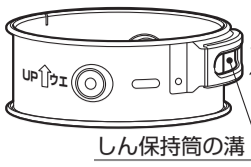


11 古いしんを4つ折りにするようにして、しんのガイドピン(3箇所)をしん保持筒からはずし、しんを下へ引き抜いてください。
 新しいしんを、軽く4つ折りにするようにして、しんのガイドピンを、しん保持筒の穴(3箇所)に差し込んでください。

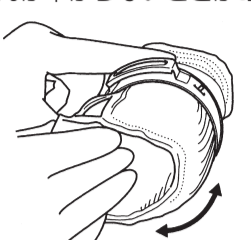


お願い

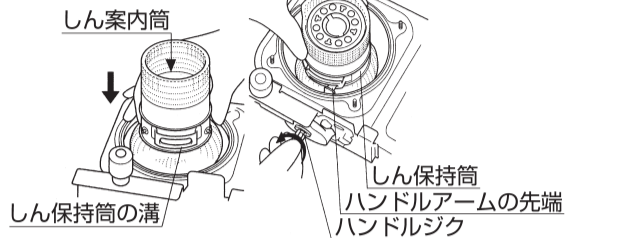
しん保持筒には上下がありますので刻印を確認して間違えないようにしてください。



12 しんを、しん保持筒の内側に指で押しつけてなつかせてください。充分になつかせないで、対震自動消火装置が作動したときに、しんが下がらないことがあります。



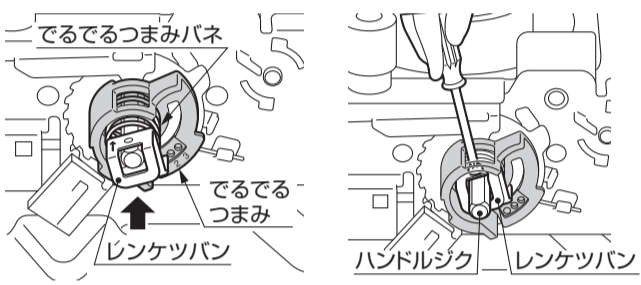
13 ハンドルジクを右方向「☺」に止まるまで回してから、しん案内筒に、しん保持筒を取り付けたしんを差し込んで、しん案内筒になつかせてください。しん保持筒の溝に、ハンドルジクを左方向「☹」に回しながらハンドルアームの先端を差し込み、ハンドルジクを止まるまで左方向「☹」に戻してしんを下げてください。



お願い

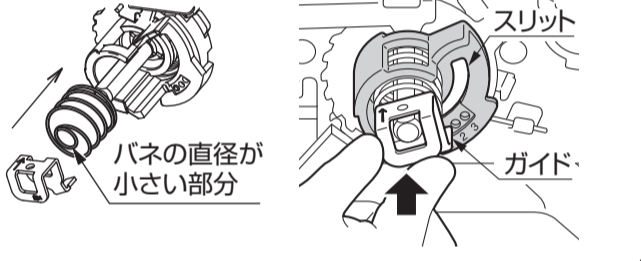
ハンドルアームに板パネが取り付けがある場合は、取りはずす時と同様にしん保持筒としん下部に注意してください。

14 でるでるつまみ、でるでるつまみパネを組み付けてから、レンゲツパンをハンドルジクに通して差し込み、レンゲツパンを支持しながら止めねじ1本で固定してください。
 ●でるでるつまみは「1」の位置にセットしてください。

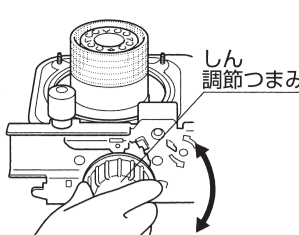


お願い

レンゲツパンは、ガイドをスリットに差し込んで固定してください。



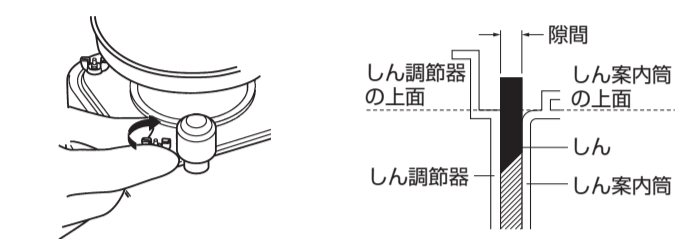
15 ハンドルジクにしん調節つまみを取り付けて、しんの上下がスムーズに動かか確認してください。



16 しん調節器パッキンの溝が、油受けざらの突起に確実に入っていることを確認してから、しん調節器をしん案内筒にかぶせてください。



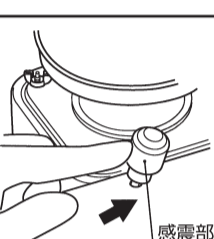
17 しん案内筒としん調節器の隙間が全周揃っている所で、6ページ6項ではずしたしん調節器の蝶ネット4本を、対角線上の各々2本ずつ均等に締めてください。片側のみを締め付けるのではなく、4本を均等に徐々に締めてください。
 しん調節器の上面としん案内筒の上面の高さが、揃っていることを確かめてください。
 ●揃いが悪いと炎が片寄ってしまいます。



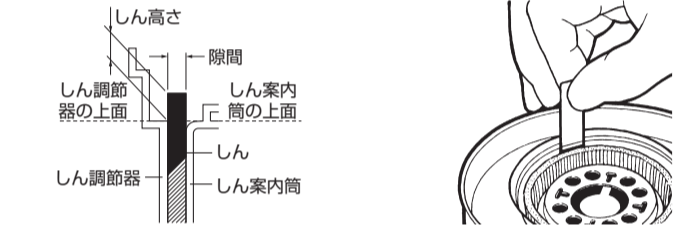
18 「感震部」を押して、対震自動消火装置を作動させ、しんがスムーズに確実に下がるかどうか、2〜3回確認してください。

お願い

しんの上下がスムーズでない場合は、7ページ12項からやり直してください。



19 しんの高さは、でるでるつまみを①の位置にして、いっぱい上げたとき約9mmです。11ページに、しんの高さを確認しやすいゲージが付いています。しんの高さが、均一に揃っていることを確かめてください。

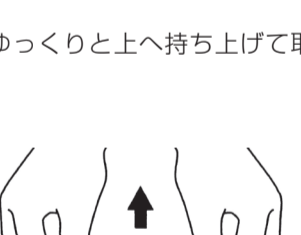


●しん先端の糸のほつれ等は、はさみなどで切り揃えてください。

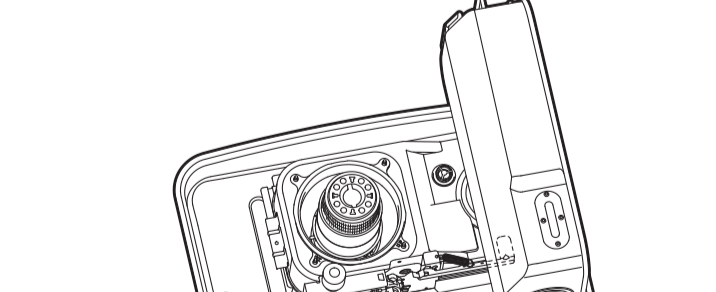
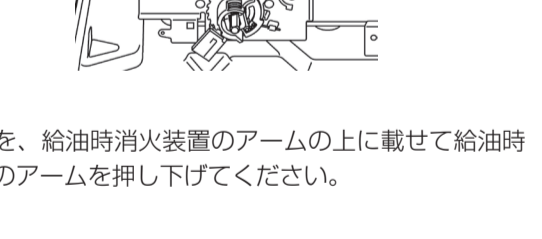
6 しん調節器の蝶ネット4本を、取りはずしてください。
 ●蝶ネットが回しにくい場合は下図のようにドライバーなどを使って、回して取りはずしてください。



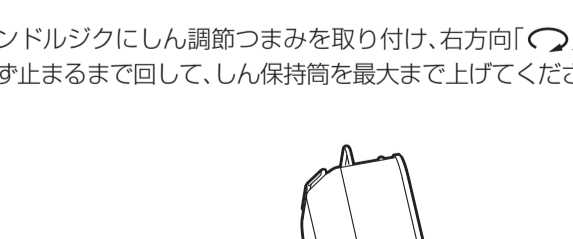
7 しん調節器を、ゆっくりと上へ持ち上げて取りはずしてください。



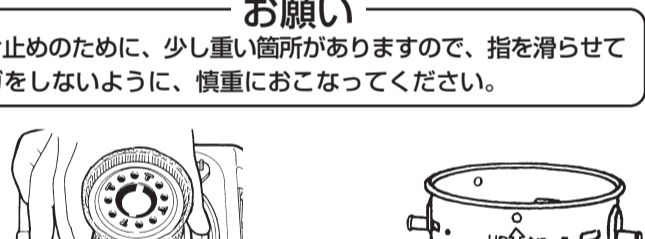
8 油タンクを、給油時消火装置のアームの上に乗せて給油時消火装置のアームを押し下げてください。



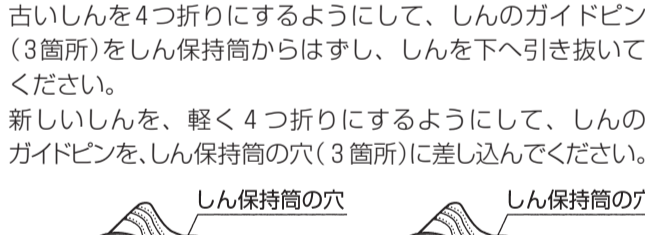
9 ハンドルジクにしん調節つまみを取り付け、右方向「☺」に必ず止まるまで回して、しん保持筒を最大まで上げてください。



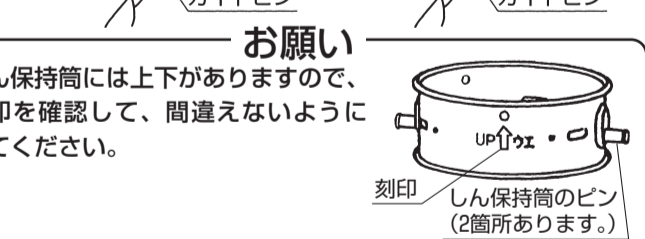
10 しん保持筒を持って、ハンドルアームの溝から、しん保持筒のピン(前後2箇所あります)を左「☹」に戻して取りはずしてください。



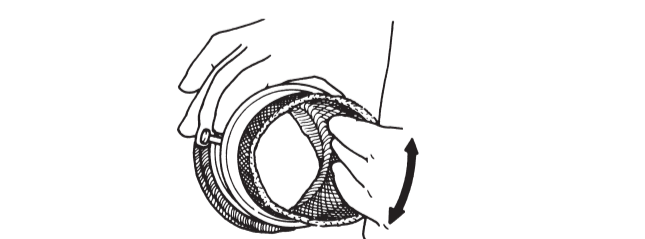
11 古いしんを4つ折りにするようにして、しんのガイドピン(3箇所)をしん保持筒からはずし、しんを下へ引き抜いてください。
 新しいしんを、軽く4つ折りにするようにして、しんのガイドピンを、しん保持筒の穴(3箇所)に差し込んでください。



12 しんを、しん保持筒の内側に指で押しつけてなつかせてください。充分になつかせないで、対震自動消火装置が作動したときに、しんが下がらないことがあります。

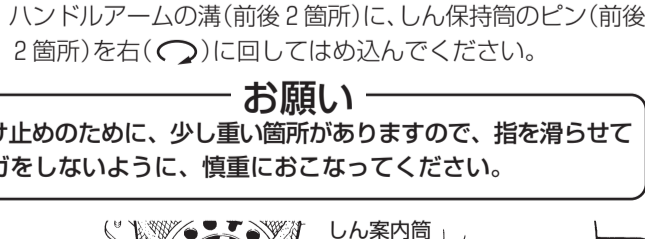


13 ハンドルジクを右方向「☺」に止まるまで回してから、しん案内筒に、しん保持筒を取り付けたしんを差し込んで、しん案内筒になつかせてください。
 ハンドルアームの溝(前後2箇所)に、しん保持筒のピン(前後2箇所)を右「☹」に戻してはめ込んでください。



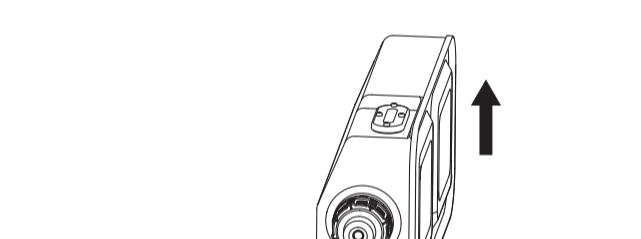
お願い

抜き止めのために、少し重い箇所がありますので、指を滑らせてケガをしないように、慎重におこなってください。

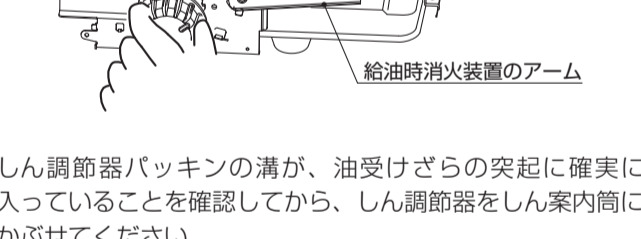


●しん下部をハンドルアームの内側に入れ込んでください。

14 しん調節つまみを回して、しんが上下にスムーズに動かか確認してください。
 油タンクを持ち上げたとき給油時消火装置のアームが上がり、しんが最下点まで確実に下がることを確認してください。



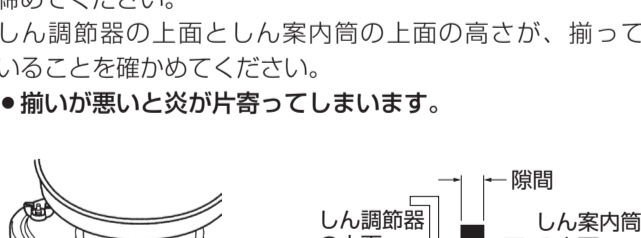
15 しん調節器パッキンの溝が、油受けざらの突起に確実に入っていることを確認してから、しん調節器をしん案内筒にかぶせてください。



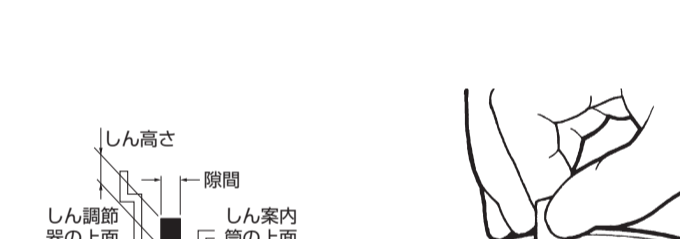
16 しん案内筒としん調節器の隙間が全周揃っている所で、9ページ6項ではずしたしん調節器の蝶ネット4本を、対角線上の各々2本ずつ均等に締めてください。片側のみを締め付けるのではなく、4本を均等に徐々に締めてください。
 しん調節器の上面としん案内筒の上面の高さが、揃っていることを確かめてください。
 ●揃いが悪いと炎が片寄ってしまいます。



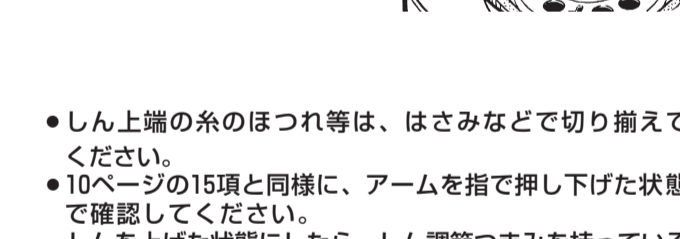
17 給油時消火装置のアームを指で押し下げながら、しんを上げてから「感震部」を押して、対震自動消火装置を作動させ、しんがスムーズに確実に下がるかどうか、2〜3回確認してください。



18 しんの高さは、下記の「各型式のしんの高さ」を参照してください(でるでるつまみが付いている機種はでるでるつまみが①の時のしんの高さです。)しんの高さが、均一に揃っていることを確かめてください。

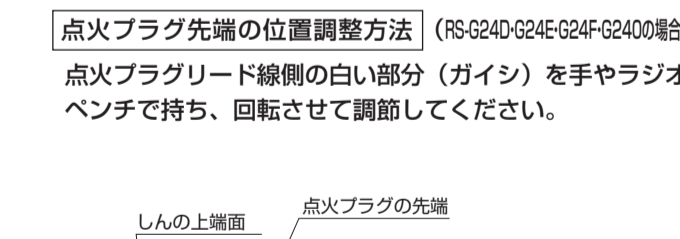


●しん先端の糸のほつれ等は、はさみなどで切り揃えてください。
 ●10ページの15項と同様に、アームを指で押し下げた状態で確認してください。
 しんを上げた状態にしたら、しん調節つまみを持っている手をゆっくりと離して、しんの高さ確認してください。
 ■RS-G24D・G24E・G24F・G240の場合は、しんを上げた状態で、点火プラグの先端が、しんの上端よりも、約0〜1mm下に位置している事を確認してください。
 点火プラグの先端の位置が低すぎたり高すぎる場合は、下記の様に調整してください

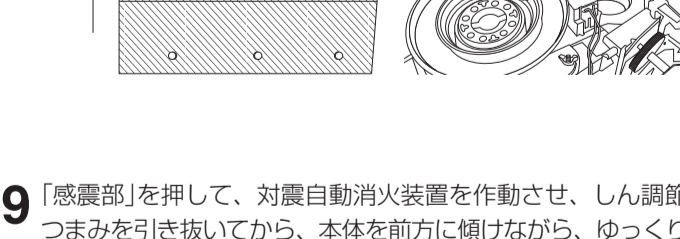


■RS-G24D・G24E・G24F・G240は手で「ぐるんPa」のハンドルを持ってねじで「ぐるんPa」のハンドルを取り付けてください。

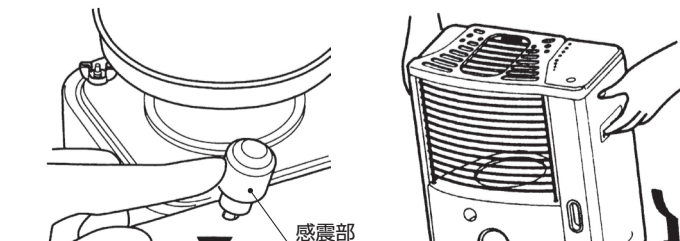
22 燃焼筒をしん調節器の上に正しくセットし、ガードを閉じて、油タンクを入れてください。乾電池を電池ケースに☉☔を正しく合わせて入れてください。



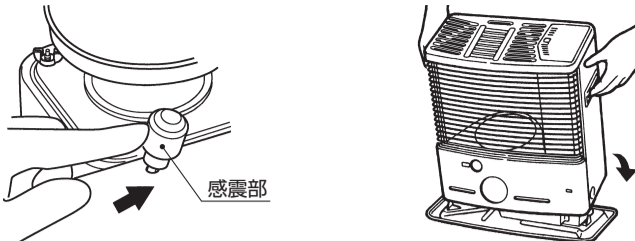
19 「感震部」を押して、対震自動消火装置を作動させ、しん調節つまみを引き抜いてから、本体を前方に傾けながら、ゆっくりと動かせてください。



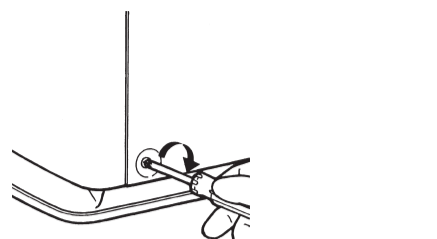
21 本体の両側面と背面を、止めねじ(3本)で固定してください。



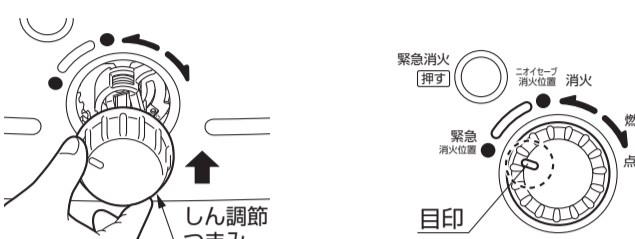
20 「感震部」を押して、対震自動消火装置を作動させ、しん調節つまみを引き抜いてから、本体を前方に傾けながら、ゆっくりと動かせてください。



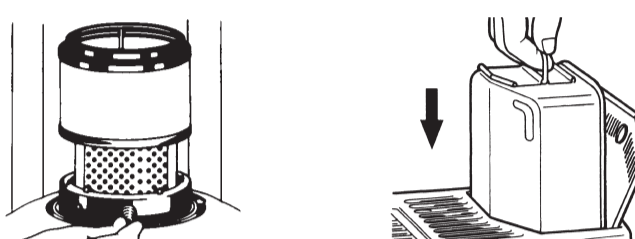
21 本体の両側面と背面を、止めねじ(3本)で固定してください。



22 しん調節つまみの目印を「緊急消火位置」に合わせて、取り付けてください。



23 燃焼筒をしん調節器の上に正しくセットし、ガードを閉じて、油タンクを入れてください。乾電池を電池ケースに☉☔を正しく合わせて入れてください。

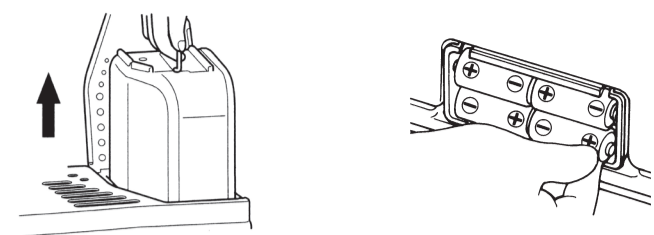


24 油タンクに給油してから20分以上待ってしんに灯油が十分に吸い上げられてから点火操作をして、各部がスムーズに動き、正常に燃焼することを確認してください。

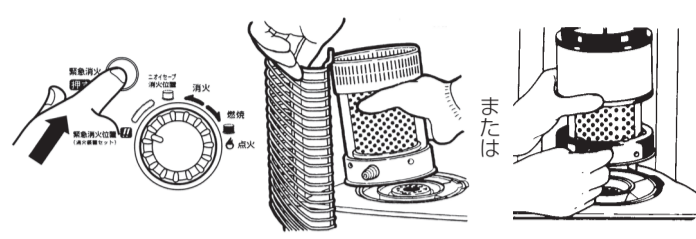


適合する機器の型式表の参照④の機種

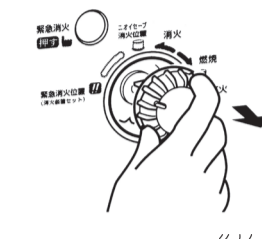
1 油タンクと、電池ケースから乾電池を取り出してください。
 ■RS-G24D・G24E・G24F・G240は乾電池はありません。



2 「緊急消火ボタン」を押して、対震自動消火装置を作動させてから、ガードを開いて、燃焼筒を取り出してください。



3 しん調節つまみを引き抜いてください。

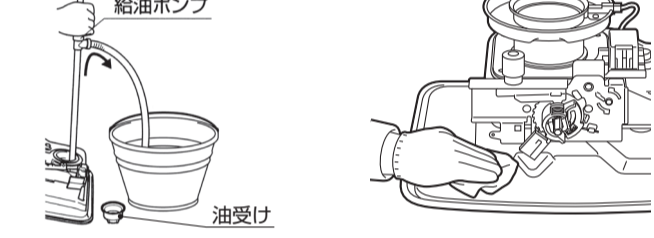


■RS-G24D・G24E・G24F・G240は「ぐるんPa」のハンドルを引き出し、手でハンドルが回らないよう固定して中央の止めねじを取り、「ぐるんPa」のハンドルを引き抜いてください。

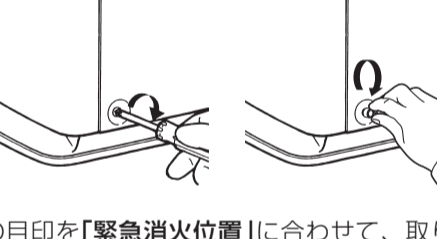
4 本体の両側面と背面にある止めねじ3本を、左に回して取りはずしてください。本体を前方に傾けながら、ゆっくりと上方に持ち上げて取りはずしてください。



5 油受けざらにある油受けを取りはずし、市販の給油ポンプで、油受けざら内の灯油を抜き取ってください。
 ●残った灯油は、布切れなどで吸い取ってください。
 ●取りはずした油受けを元通りに油受けざらにセットしてください。
 ●置台と油受けざらの隙間のほこり、ごみを取り除いてください。



23 油タンクに給油してから20分以上待ってしんに灯油が十分に吸い上げられてから点火操作をして、各部がスムーズに動き、正常に燃焼することを確認してください。
 ■RS-G24D・G24E・G24F・G240で点火しにくい場合は、点火プラグの先端の位置をもう一度確認してから、再度しんを上げて点火してください。



21 しん調節つまみの目印を「緊急消火位置」に合わせて、取り付けてください。



■RS-G24D・G24E・G24F・G240は手で「ぐるんPa」のハンドルを持ってねじで「ぐるんPa」のハンドルを取り付けてください。

22 燃焼筒をしん調節器の上に正しくセットし、ガードを閉じて、油タンクを入れてください。乾電池を電池ケースに☉☔を正しく合わせて入れてください。



各型式のしんの高さ

型 式	しん高さ
RS-235-237・D234-D235-23, BRS-D235-23, CS-D235-D236-D237 HRS-235D-23-237, NRS-D234-D235-D236-23E3-23E4	7.5mm
RS-233-231-237E-S234-S236-S230-S232-S23E-S240-S24D-G24E-G24F-G240-G233 NRS-233V6-S23E7-S23E9-S23E9-S23E1-S23E2-S231-5E3-S231-8E4-S231-7E5-S231-8E6-G231-9E7 NT-21, KS-L21, HRS-L21, BRS-210, RSK-233, TP-23, CPS-21, CS-S234-S236-S23C-S23D, AS-S23B-S23C-S230D-2301, RSK-2300D-230, RSV-23-230, AH-2300, RSYM-230	8mm
RC-D284E-D285E-D287E-D288E, NRC-D28E3-D28E4-D28E5-S28E8-S28E9-S28E1-S28E2-S281-5E3-S281-6E4-S281-7E5-S281-8E6-S281-9E7-NT-S28D-S28G-S280, RS-D238E-D239E, CS-D238E-D239E, NRS-D23E6, PA-239, RC-S28A-S28B-S28C-S28D-S28E-S28F-S28G-S280	9mm
RS-D295-D297-D287E, YRS-D297	10mm

■下表の、しん高さの寸法は、
 ●しんを、いっぱい上げた高さです。
 ●でるでるつまみが付いているものは、しん高さ調節つまみ(でるでるつまみ)を①にして、しんをいっぱい上げた高さです。
 ★右下欄に、しん高さを確認するゲージが付いています。しん高さが均一に揃っていることを確認してください。

■しん高さの確認のしかた
 ●下の、しん高さ確認ゲージを使用して、しんが規定の高さに均一に揃っていることを確認してください。

■しん高さ確認ゲージ
 しんの高さを測るときは下図を破線の部分で切り取ってください。